

(第1面)

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

提出日を和暦で記入。

令和〇年〇月××日

川口市長 殿

法人名及び代表者氏名

提出者

住 所 川口市△△1-1-2

氏 名 株式会社〇〇

代表取締役 〇〇 ××

押印不要

(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)
電話番号 ●●●-△△△-□□□□

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、令和〇年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

報告対象年度(昨年度)の和暦

事業場の名称 株式会社〇〇 川口工場

事業場の所在地 川口市□□2-2-3

事業の種類 E24 金属製品製造業

主要な事業を記入。
日本産業分類の中分類を記入。
アルファベットと数字も必ず記入。

産業廃棄物処理計画における
計 画 期 間 前年4月1日～今年3月31日
令和〇年 4月 1日から令和〇年 3月31日まで

産業廃棄物処理計画における目標値

前年提出の計画書の値を記入。

項目	目標値	項目	目標値
排 出 量	2,200 t	全 処 理 委 託 量	1,700 t
自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	t	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	t
自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	t	再生利用業者への 処 理 委 託 量	1,000 t
自ら中間処理により減量する 産業廃棄物の量	500 t	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	t
自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	t	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	t

※事務処理欄

記入には、(第3面)の備考欄も参照すること。

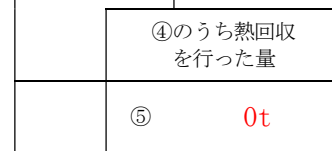
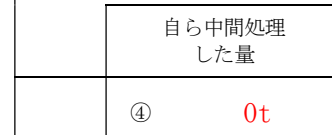
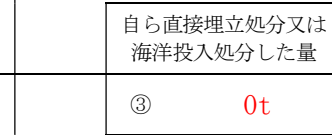
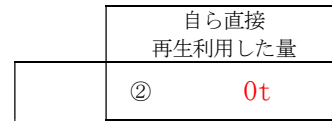
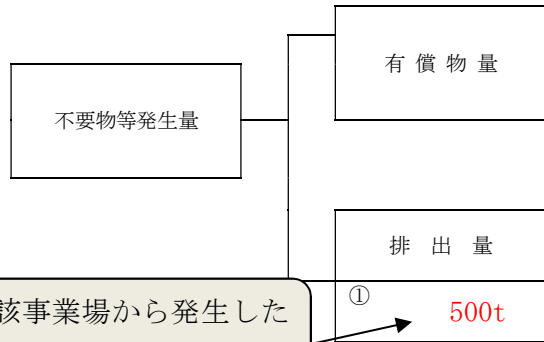
種類ごとに記入。(別紙可)

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: 廃プラスチック類)

産業廃棄物処理業者に中間処理及び最終処分を委託した量のうち、処理業者に再生利用を委託した量を記入。

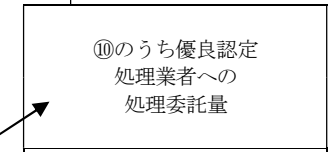
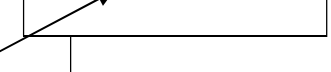
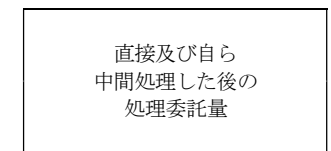
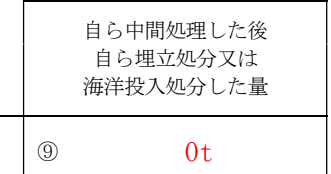
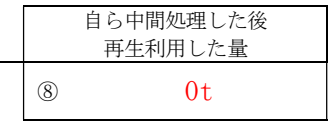
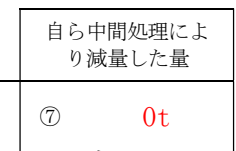
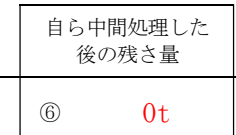
当該事業場から発生した産業廃棄物の量を記入。



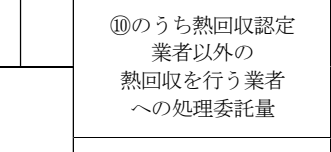
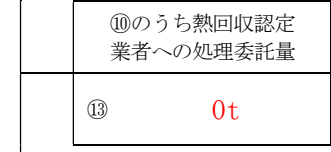
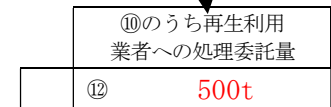
単位(t)も記入。

産業廃棄物処理業者に中間処理及び最終処分を委託した量を記入。

優良認定処理業者へ委託した量を記入。



項目	実績値
① 排出量	500 t
②+⑧自ら再生利用を行った量	0t
⑤自ら熱回収を行った量	0t
⑦自ら中間処理により減量した量	0t
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0t
⑩全処理委託量	500t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0t
⑫再生利用業者への処理委託量	500t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0t



記入には、(第3面)の備考欄も参照すること。

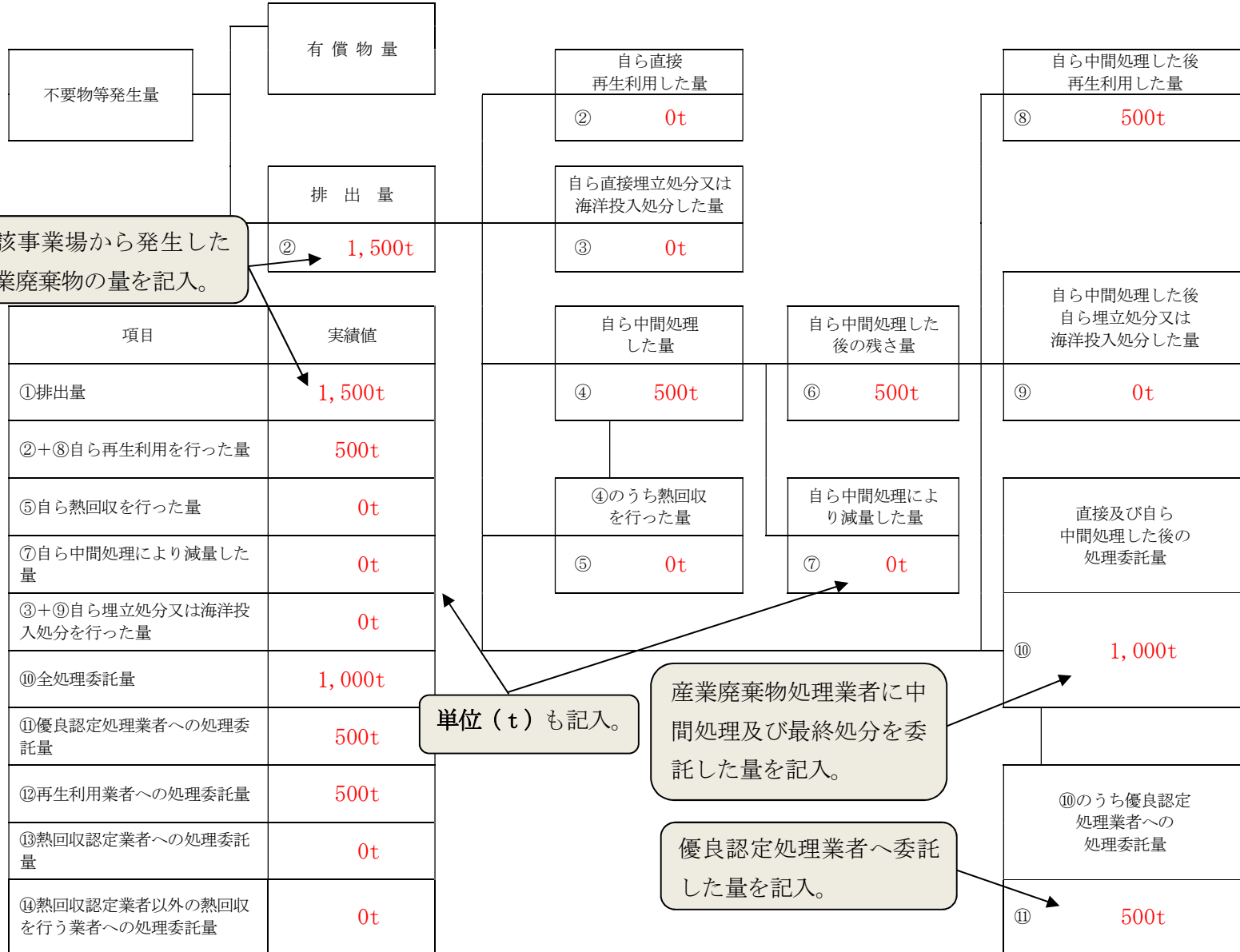
種類ごとに記入。(別紙可)

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: 金属くず)

産業廃棄物処理業者に中間処理及び最終処分を委託した量のうち、処理業者に再生利用を委託した量を記入。

当該事業場から発生した産業廃棄物の量を記入。



項目	実績値
①排出量	1,500t
②+⑧自ら再生利用を行った量	500t
⑤自ら熱回収を行った量	0t
⑦自ら中間処理により減量した量	0t
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0t
⑩全処理委託量	1,000t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	500t
⑫再生利用業者への処理委託量	500t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0t

単位 (t) も記入。

産業廃棄物処理業者に中間処理及び最終処分を委託した量を記入。

優良認定処理業者へ委託した量を記入。

⑩のうち再生利用業者への処理委託量
⑫ 500t

⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量
⑬ 0t

⑩のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量
⑭ 0t

⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量
⑪ 500t

(第3面)

備考

- 1 翌年度の6月30日までに提出すること。
- 2 「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
- 3 「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。
- 4 第2面には、前年度の産業廃棄物の処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。
 - (1) ①欄 当該事業場において生じた産業廃棄物の量
 - (2) ②欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量
 - (3) ③欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分をした量
 - (4) ④欄 (1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量
 - (5) ⑤欄 (4)の量のうち、熱回収を行った量
 - (6) ⑥欄 自ら中間処理をした後の量
 - (7) ⑦欄 (4)の量から(6)の量を差し引いた量
 - (8) ⑧欄 (6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量
 - (9) ⑨欄 (6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量
 - (10) ⑩欄 中間処理及び最終処分を委託した量
 - (11) ⑪欄 (10)の量のうち、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量
 - (12) ⑫欄 (10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量
 - (13) ⑬欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量
 - (14) ⑭欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量
- 5 第2面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。
- 6 産業廃棄物の種類が2以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。